



林 利幸議員

Q 稲枝駅西口へのアクセス道路の完成時期は

A 令和8年度中に完成させ、供用開始に向け取り組んでいる



その他の質問

- ・荒神山における獣害対策について
- ・小中学校の統廃合について
- ・農業集落排水と公共下水道との接続について

Q 稲部本庄線の現状は。

A 市道部分の整備は完了。今後優先整備区間の金田町交差点から稲枝駅西口へ至る区間全体の供用開始に合わせ、金田町交差点の形状変更に伴う路面標示の書き換えを行う。

Q 芹橋彦富線の現状は。

A 優先整備区間で事業協力が得られず未取得の用地があり、一部区間で歩道などが未整備となっているが、車道は道路線形を調整したうえで供用開始ができる状態。また、優先整備区間から県道愛知川彦根線までの区間は次期整備区間と位置づけ、順次整備を進める。

Q 稲枝西口停車場線の現状は。

A 優先整備区間の供用開始に向け切れ目なく工事を発注し、先般、アスファルト舗装を行う施工業者が決定。準備が整い次第工事に着手する。今後は、本定例会で補正予算が認められたら区画線工の整備を行う。



▲稲枝西口停車場線の現状（写真奥はJR稲枝駅西口）



安澤 勝議員

Q 特定外来種の捕獲駆除状況は

A アライグマは約2割増加し79頭



その他の質問

- ・国道8号バイパス彦根工区事業決定の概要は
- ・中山道バイパスの現状と今後の見通しは

Q サルの彦根群の全頭捕獲に向けて今後の予定は。

A 現在実施している行動域調査を継続し、佐和山北部に生息する弁天群における個体数調査で得た知見を活用しながら、効果的なサルの管理手法の検討を進める。追い払いや侵入防止対策および捕獲対策を組み合わせた総合的な対策を実施し、最終的な対策として全頭捕獲について検討する。特に人への警戒心が低く、住宅地へ出没が多い群れについては、人とサルとの適切な距離を確保し、地域住民の安全安心につながるよう取り組む。

Q 特定外来種の捕獲駆除状況は。

A アライグマ79頭、ヌートリア2頭、ハクビシン17頭の計98頭。令和6年度と比較するとアライグマは約2割増加している。

Q 近隣自治会から被害相談はあるか。

A 個別に相談を受け適宜対応している。



▲鳥居本町上町付近で遭遇したアライグマ



矢吹 安子議員



旧井伊神社は県指定文化財の可能性はあるか



**歴史上・学術上価値が高いため
県指定の要件を満たす可能性がある**



その他の質問

- ・乳幼児期における家庭教育の大切さについて
- ・5歳児健診の必要性について
- ・本市のペアレントトレーニングについて

Q 旧井伊神社社殿とは。

A 見た目の美しさと意匠に優れ、江戸時代後期の高度な技術の粋を集めた社殿が評価され、2013年に彦根市指定文化財となった。

Q 県の文化財保護課や国の文化庁の反応は。

A 全国的に権現造の建物が数多く存在し、新たな特徴が明らかでないが、滋賀県知事は非常に良い建物であり、県、国の指定を目指していきたいと話された。

Q 調査報告書の刊行後に期待できることは。

A 高い歴史的価値はあるが、国指定となるためには新たな建築的特徴の更なる調査研究が必要である。

Q 県指定文化財の可能性は。

A 歴史上または学術上価値の高いもののうち重要なものが県文化財保護審議会の審議を経て県指定となる。旧井伊神社はその要件を満たす可能性があると考えられる。



▲旧井伊神社の「ほりもの」



中川 睦子議員



**学校体育館の空調設備の
設置計画を立てるべきでは**



**中学校体育館 7 校へは令和14年度
から 2 年間で実施検討する**



その他の質問

- ・老人福祉センターの空調設備について
- ・生活応援クーポン事業について
- ・高齢者が安心して利用できるデイサービスについて

Q 空調設備が市内公共施設で未整備なのはどこか。

A 全小中学校、全幼稚園、子どもセンター、各出張所、稲枝地区体育館、武道場の計38か所の一部または全部。

Q 未整備の理由と今後の方向性は。

A 多額の財政負担が理由であり、今後は国の補助金制度の活用と実態に応じた適切な対応について検討する。

Q 学校体育館は災害時の避難所としての機能をどう果たすのか。

A 熱中症のリスクが高い子どもや高齢者を優先して、空調設備のある普通教室等に避難させる等の対応を考える。

Q 学校体育館への設置計画を立てるべきでは。

A 教育環境の向上や災害時の避難所の機能強化の観点から、中学校体育館 7 校への空調設備整備を、国の交付金を活用できる令和14年度から15年度までに実施できるよう検討していく。

校名	空調設備の有無	設置計画の有無
小中学校	0	0
幼稚園	0	0
子どもセンター	0	0
各出張所	0	0
稲枝地区体育館	0	0
武道場	0	0
老人福祉センター	0	0
生活応援クーポン事業	0	0
高齢者が安心して利用できるデイサービス	0	0

▲2026年6月7日付け「滋賀民報」掲載記事





馬場 和子議員

Q 交通対策の実証実験や社会実験の結果を踏まえ実現につなげられないか

A 世界遺産登録実現を本格実施に移す契機と捉え実験の成果を生かしていく



その他の質問

- ・事業成果報告書の活用
- ・固定資産台帳の公表
- ・公共施設維持管理のライフサイクルコストの縮減対策

Q 「ひこねひらくみちづくり」の手ごたえと今後の予定は。

A 道路を交流や活動の場として活用できる可能性が実感できた。今後は、再度実験したうえで滋賀県に提言し、再整備につなげたい。

Q 世界遺産登録を見据えた交通対策として、これまで実施してきた実証実験や社会実験は、一つでも実施につなげられないのか。

A パーク・アンド・バスライドは、原町地先の市有地の拠点駐車場化が必要。グリーンスローモビリティ導入は車両購入に多額の経費が必要で、情報収集等を行ってきた。滋賀県による自動運転バスも含め彦根城世界遺産登録の実現がこれら交通施策を本格実施に移す契機と捉えている。観光客の増加対策として実験成果を生かしながら実施につなげたい。



▲ひこねひらくみちづくり社会実験



黒澤 茂樹議員

Q 夏の暑さ対策や紫外線対策は

A 登下校時は日傘の使用や、場合によりサングラスの使用も許可する



その他の質問

- ・学校体育館空調設備導入の検討状況について
- ・生徒会長公約実現事業について
- ・市役所本庁舎敷地内全面禁煙について

Q 今夏の教育現場での暑さや紫外線に対する対策は。

A 児童生徒を厳しい暑さから守るため、夏季休業期間を8月31日まで延長し、2学期の始業を9月1日とした。課業日にはエアコンを適切に稼働させ各教室の温度、湿度を快適かつ安全な状態に維持する。また各校策定の熱中症予防対策マニュアルに基づき、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう万全を期す。

紫外線対策については、学童期は皮膚の構造上や紫外線からのダメージを防ぐメラニン色素の生成が未発達という特徴から、登下校時には帽子着用や日傘の使用を認めている。また、サングラスについては、紫外線アレルギーなどの理由で保護者から申し出があった場合は使用を許可することとしている。



▲日傘やサングラスをして登校する様子（イメージ）